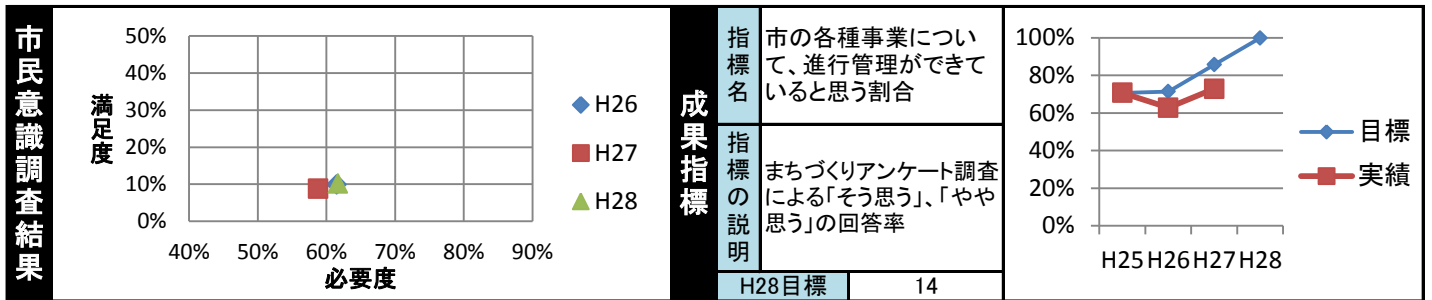


基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	724	進行管理のしくみ		040100	企画振興部総合政策課	0595-22-9620
	7241	総合計画に基づく市政の進行管理	評価責任者・役職名	企画振興部 部長 藤岡 淳次		
再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> 従来の「政策・施策を総合化する計画」を脱却し、この総合計画を「政策・施策をマネジメントする計画」として位置づけます。 市の行政経営報告(仮称)により毎年市民の皆さんに計画の進捗状況をわかりやすく伝え、市民目線で政策を評価・検証できるしくみをつくります。 					
施策の方向	総合計画に基づき、市の重点プロジェクト、分野別施策を的確に実施するとともに、各部局間が連携・協力して政策・施策の推進を行います。また、市民に進捗状況を公表するとともに市民の意識を把握し、その結果を踏まえて市民で構成する委員会等により、政策・施策の評価・検証を行います。					



	平成26年度	平成27年度	平成28年度
前年度の取組内容と残された課題	<p>(平成25年度の取組内容と残された課題) 市民や自治組織などの各主体がまちづくりの担い手であることを掲げた、第2次伊賀市総合計画を策定しました。また、総合計画第1次再生計画では、計画の進行管理を行うため、平成26年度でその具体的な内容を検討していくこととしました。</p>	<p>(平成26年度の取組内容と残された課題) ・総合計画の進捗管理として、平成19年から実施している「伊賀市まちづくりアンケート」を実施しました。 ・総合計画の策定を行う総合計画審議会を、総合計画の進行管理、評価、自治基本条例の改正などを行う、4つの審議会の機能を1つに統合しました。 ・総合計画の進捗管理については、総合計画の位置付けが市民や地域における各主体、行政が共有する計画であることから、事務事業評価やアンケート調査結果等の公表、市民で構成する審議会、タウンミーティングの開催に取組み、本市の将来像の実現に向けて取組む必要があります。</p>	<p>(平成27年度の取組内容と残された課題) ・総合計画の進捗管理を行うため、平成19年から実施している「伊賀市まちづくりアンケート」を総合計画審議会の意見も踏まえ、引き続き実施しました。 ・平成29年度から始まる第2次再生計画(仮称)の策定に向けて、伊賀市総合計画審議会及び伊賀市総合計画等策定本部を設置しました。 ・第2次再生計画(仮称)策定方針案について、議会、総合計画審議会で意見を徴するとともに、パブリックコメントの募集を行いました。 ・総合計画審議会において総合計画の進行管理の一つとして、外部評価のしくみを検討しました。</p>
改善・取組方向	<p>市民への周知を進めるため総合計画の冊子を作成し、特に概要版については全戸に配付しました。また、施策の推進に対する市民の意見を把握するため、まちづくりアンケートを実施するとともに、計画の進行管理に資するため、行政総合マネジメントのしくみづくりに取組みます。</p>	<p>・新たな総合計画審議会において、平成29年度から始まる第2次総合計画第2次再生計画の策定作業を、平成27年度後半から取掛かる必要があります。 ・地方創生推進事業として、伊賀市人口ビジョン及び伊賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定します。</p>	<p>・第2次再生計画(仮称)については、中間案のタウンミーティングやパブリックコメントの募集を行い、平成28年度内の策定を目指しています。 ・平成27年10月に策定した「伊賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重要業績指標(KPI)の進行管理については、第1次再生計画成果指標の進行管理と併せて実施します。</p>
改善ポイントと具体的な取組			

(続紙)

施策 7241

総合計画に基づく市政の進行管理

(千円)

構成 事務事業 の 重点化	No	26 重点	27 重点	28 重点	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方向	H28 予算	
	01	1		2	総合計画進行管理経費(01-02-01-06-121-02)	総合計画の進捗管理として、平成19年から実施している「伊賀市まちづくりアンケート」を実施する。	561	457	→	262	
	02	2	2	3	調査企画事務経費(01-02-01-06-121-01)	庁議の開催や職員提案制度の運用、政策課題の調査・研究を行う。	3,398	3,199	↓	386	
	03		1		地方創生推進事業(01-02-01-06-121-59)	地方創生推進事業(平成26年度補正予算 地域住民生活等緊急支援のための交付金事業(地方創生先行型))平成27年度は繰越予算により推進	7,452	5,288	皆減	0	
	04				地方創生推進事業(01-02-01-06-121-59)	「まち・ひと・しごと創生法」による地方創生を推進するため、地方創生関連施策及び先進的な取組みを研究を目的に、職員を対象とした講演会等を開催する。	0	0	↑	192	
	05			1	総合計画策定事業(01-02-01-06-121-51)	第2次再生計画(仮称)(平成29年～平成32年)を策定する。	0	0	新規	8,521	
	構成事務事業 合計							11,411	8,944		9,361

中間 総括	第1次再生計画 期間全体を総括 して	第2次総合計画策定後、伊賀市行政総合マネジメントシステムを構築し、総合計画の進行管理を行っています。しかし、市民や各種団体へは、その成果がわかるものとして、行政経営報告書や事務事業評価シートを公開していますが、わかりにくいといった課題があります。また、施策評価、事務事業評価の対象事業が総合計画の構成上、件数が多いこともわかりにくさの一因になっています。
	第2次再生計画 (仮称)への課題、 対応について	第2次再生計画(仮称)の策定にあたり、施策及び事業の体系を見直し、集約することでわかりやすくするとともに、進行管理の成果については、市民目線でわかりやすい報告書等に取りまとめる必要があります。また、これまで内部評価のみであったものを総合計画審議会を中心に行う、外部評価のしくみを確立する必要があります。

基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	政策名等	724 進行管理のしくみ		010600	総務部行財政改革推進課	0595-22-9622
	施策	7242 各種計画の整理統合	評価責任者・役職名	総務部 部長 西堀 薫		
	再生の視点(何を、どうする)	・多岐に及ぶ各種計画の見直しを行い、計画の進行管理を総合計画により一元的に行うことにより、行政経営資源(ヒト・モノ・カネ)を効果的に投入します。				
施策の方向	市の各種計画を整理統合し、総合計画により一元的に進行管理を行うことにより、市政の透明性を図るとともに、効率的な市政運営を行います。また、「(仮)審議会等の見直し方針」を策定し、審議会等や庁内会議についても整理統合を進めます。					

市民意識調査結果	満足度	必要度	成果指標	指標名	100%	実績
				指標の説明	80%	
				伊賀市審議会等の見直し方針に基づき廃止又は見直しを行った審議会数(累積)	60%	
			H28目標	35		

改善・取組方向	前年度の取組内容と残された課題	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		(平成25年度取組内容と残された課題) 第2次伊賀市総合計画 再生計画を策定しました。 今後、各種個別計画について、総合計画への一元化を進める必要があります。 「審議会等の見直し方針」を策定しました。 見直し方針に沿った見直しの実効性が課題となっています。	(平成26年度取組内容と残された課題) 第2次伊賀市総合計画再生計画への統合を進めるため、各種個別計画の策定状況の調査を実施しました。 市の計画策定に関する基本的な考え方を整理するとともに、総合計画を中心とした計画の体系化を進める必要があります。 第2次再生計画(H29～H32)の策定に合わせて、各種個別計画の整理統合を進める必要があります。 平成26年度実施の全事務事業に係る見直し調査結果及び審議会等の見直し方針により、委員の任期等に配慮しながら、審議会等の整理・統合を図りました。 審議会数の整理・統合とともに、市民の市政参加機会の確保について検討する必要があります。	(平成27年度取組内容と残された課題) 第2次再生計画(仮称)の策定に向け、各種個別計画の一元化を進めるため、各種個別計画の状況調査を行い、各計画の今後の取り扱いを確認しました。 審議会等の見直し方針により、方向性を決定した各審議会の進捗状況のヒアリングを行いました。また継続とした審議会についても更なる推進が必要です。
	改善ポイントと具体的な取組	各種個別計画について、計画の目的や期間等の策定状況の整理を行います。 「審議会等の見直し方針」により、審議会等の整理統合を進めます。	市の計画策定に関する基本的な考え方を示します。 総合計画を中心に各種個別計画の体系化と整理統合を進めます。 審議会等の見直し方針に基づき、引き続き見直しを推進します。	審議会等の見直し方針により、方向性を決定した各審議会の進捗状況のヒアリングを行いました。また継続とした審議会についても更なる推進が必要です。

(続紙)

施策 7242

各種計画の整理統合

(千円)

構成事務事業の重点化	No	26 重点	27 重点	28 重点	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方向	H28 予算	
	構成事務事業 合計							0	0		0

中間総括	第1次再生計画 期間全体を総括 して	効果的、効率的な行政運営を行うため、第2次総合計画策定時に総合計画策定後の個別計画については、可能な限り再生計画へ集約する方向性を示していましたが、個別計画の計画期間や審議会等の見直し途上であり、十分に統合することができませんでした。
	第2次再生計画 (仮称)への課題、 対応について	個別計画を可能な限り第2次再生計画(仮称)へ統合するため、平成27年度に実施した個別計画の状況調査を基に、引き続き個別計画の集約に向けて取り組む必要があります。 各審議会等の見直しについては、新たな審議会等も設置されるため、見直しの基本方針をしっかりと推進する必要があります。